

山岳科学センター筑波実験林を利用する際には、筑波大学山岳科学センター「【施設利用】新型コロナウイルス感染症対策」を遵守するとともに、以下の注意をよく守ってください。

1 施設利用条件

- ・利用前2週間程度前から、体温や健康状態に異常がなく、感染疑いのある者との接触がないことを、利用開始時に申告できる者。

2 感染予防措置

- ・手指をアルコール消毒すること。
- ・密閉・密接・密集のいわゆる3密を避けること。
- ・マスク着用の上、利用者同士の距離は1.5 m以上確保することを基本とする。
- ・屋内利用時では換気に努めること。
- ・屋外利用において高温による熱中症予防のためにマスクを外す場合、利用者同士の距離は2.0 m以上確保すること。
- ・食事の際も利用者同士の距離は2.0 m以上確保すること

3 チェックシートによる確認

施設利用許可された者については、その利用期間中別添のチェックシートにより感染防止のため、実験林教職員または授業担当教員が必要なチェックを実施する（ただし、短期間の屋外のみ利用の場合はこの限りではない）。

4 その他

状況に応じて適宜利用方法等について指示できるものとする。